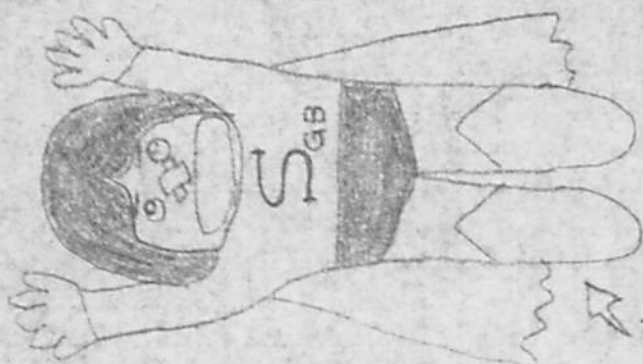


ぼくの絵日記

—春合宿おけな班
3年高子組

大塚隆夫



スーパーソガバ



ヒマのタカハシ



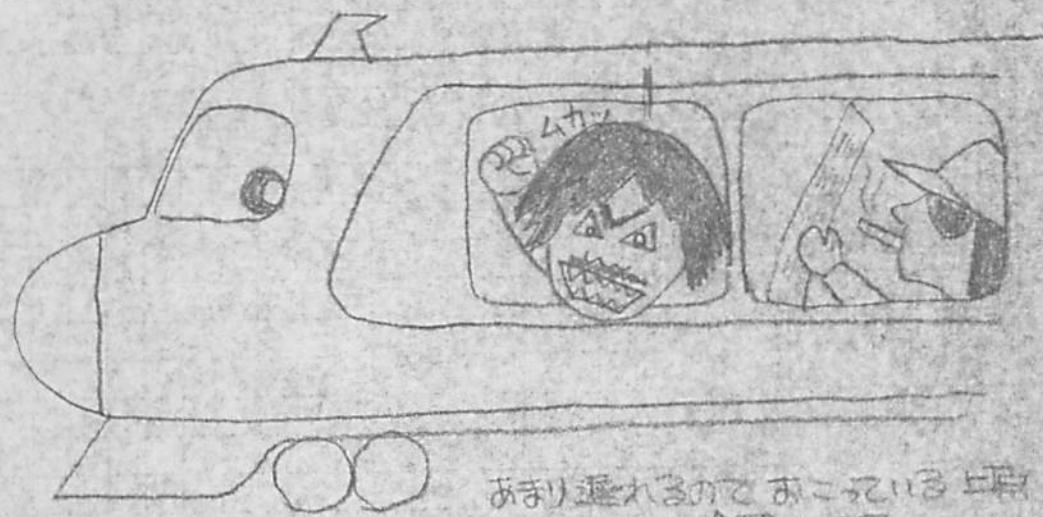
ミスターX



ギアブルコゾー
アマグチ

ウエハラのおや、サン

3月26日(日)



あまり遅れるのでおこっている上原
ミスター-Xは冷静である。

きょうから春合宿が始まるわけだが、果たしてどういふこと
ことになるやら。東京から新幹線であった。しかしなんと
このムカッ号が変電所の故障のため、6時間も遅れるとい
うパニックがあった。その直ミスター-Xと上原は何も
することがなく、上原の持ってきたオニギリを食ったり
ゆで卵をかじったりしたのであった。言い遅れましたが
あとの3人はすでに四国入りしており、この列車は2人
きりなのです。だんだん列車の中はパニック状態になるわ、
食べ物はなくなるわ、上原はズボンを脱ぎだすわで
たいへんであった。やっと岡山についたのがAM4:00、
新幹線の料金を払いもとしてもらい、ホ7ホ7する2人であった。

3月27日(月)



おんやかんやで 2人が宇和島に着いたのは、昼の12:00。
他の3人は既に到着しきっていた。上原は、さかんに新幹
線の払い戻し金で、みはなにおごろうなどとたけり狂て
いたがこの家は、後の出来事でもオシャクになってしまう。
宇和島YHをリーチしたあと、宇和島見物にうつった。
凸凹寺というのは、アのテラと読み、凸と凹について
フカーク研究した。その資料が保存されている所であ
る。で、早くSGBの先導におて立ち寄った5人は、拜
観中、時間のかかるSGBに手をやいたのがあった。
SGBがしんがりて、この寺を出て、次に宇和島城へ行
た。ここは、あまり大したところではなく、YHへ行く前に入
ったパチンコ屋の方が大したところであった。★徒歩5km

3月28日(火)



雨くさかたが、新幹線の遅れで1日狂っているおはな
班は出発せざるをえなかった。ツーリング初参加の上原
はなかなか強気でついてきた。何こうとぼして西海
までたどりついたものの強風のためテントをはさへまか
はらざるべまか迷った場所、喫茶店に入った。シューク
ボックスで「時には娼婦のように」などを聞きながら
結局テントは YNP にした。公民館に泊まることにな
り、ソックスと荷物をといた5人は結構疲れていた。
しかしアゲアゲな5人は疲れにもめげず、やがてミス
ターXによる「ゲームの理論」の講義が始まった。

☆走行 67.9km

3月29日(木)



公民館の部屋にふり注ぐカンカン照りの太陽の光は新しい希望を与えた。ただ、SGBはいつもの不安を感じずにははいられなかった。若中公園へはガラス靴という怪しき乗り物があった。なぜならうねりの最中がガラス靴に若中とのぞいていれば、たれた。て気分が悪くなるものだ。上原がすでにアウチ。ミスター-Xもヤヤアウチ気味。度島でサシとたわむれた5人は一路南へ。一本松町の手前でSGBが空中分解するといふ、事故が発生。皇からタラタラ血を流すSGBを冷静に救助したのはアロイス経験のあるミスター-Xだった。
★走行36.3km

3月30日(木)



オニババの恐しさに
にちぢにまっ
ているところ。
上原の目がオニ
になているのが
おもしろい。

咸陽島の朝は早い。きのうの晩のカレーの匂いすまじで
ハラをこわした ミスターX と高橋、ケがした SGB、と本朝
るではないこの子に「野良しよう」ともちかけたのは上原
のオヤ、オニと ギャラクシコリーであった。屋敷くになら
出発した 5人は 雨を予想して 藤井寺 YH をリーク。
山間の道をひんびり行くのは 軟弱な体でなすてはて
ある。SGBは きのうの事故で サンタラスをこわしたた
め、モロに エンタケ レンズにゴミが入るため 速く走れ
ないハメにおちいらている。さて 藤井寺 YH を待た
せていたのは オニババ と ひとりのヘルパーであった。
バレーボールの白井みたいは オニババは YH を牛耳って
おり、ヘルパーも コシギンチャクになており、YH の地位
をそねっていた。

☆ 走行 31.7km

3月31日(金)



足摺(岸)にひとり
たたずむSGB
鼻のキズが痛い

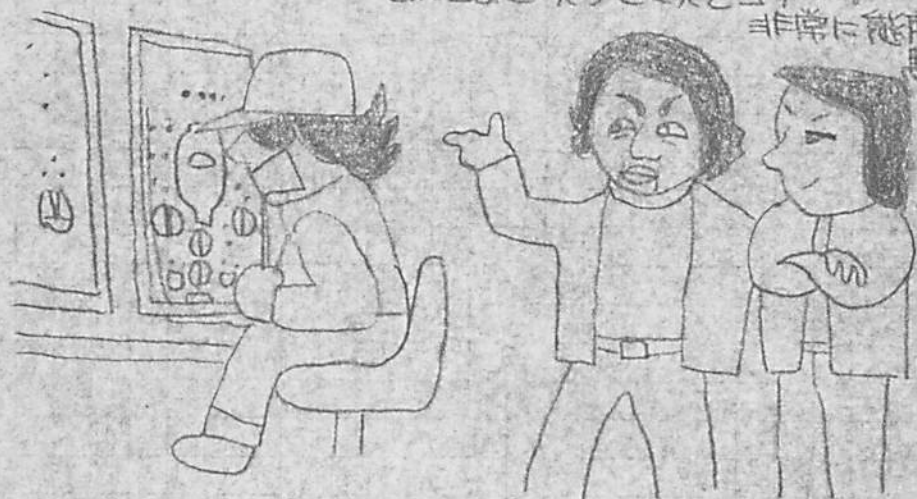
YHでマラソンなんかしたくもないのにしらべてトカ
にまた5人はソソクサと足摺へ向かた。昼前に着
いてメシを食ったあと自由行動をとった。ギャンブル
4人組はさそくパチンコ屋探し。SGBはひとり岸
にたたずみ、もの思いにふけたカリマイモを食った
た。パチンコ屋がないとわかるや、4人組は小学校
におしかけ、いいとして5才のポースリにおちよくら
れたのであつた。夜はその学校の人がひとりもいなく、
PTA会長の非公式承認があつたため夕でテント。
上原のとておきの肉じゃがはとておきすぎでして
ネコに食べられるハメに陥つてしまつた。

★走行 34.0km

4月1日(土)

全く入らないので頭にきこえるミスターX
それをまた笑うヒマンとコリ一。

非常に態度が悪い



半島を来た道と違うルートでシコシコ走っていると、向こうから来るのは高野を先頭とするMeMe班の軽装備軍団であった。10分ぐらいのコンタクトのあと、中村へ。香のテントがさすがにきついため、初の民宿が出た。この民宿は料理がすばらしく、部屋もバッチリだったが、たゞひとつ、上原がインキンのめにはまっていた。アロが一番最初に限るとして、ミスターXがドラァンコ。

夜、パチンカーと化した5人は、ミスターX、上原の二人の不調のため、全体として勝ったのかしら？ あんなへボなパチンコ屋になんか入らなければよかったものを、ユザ一とヒマンが無理やり誘ったというウワサはあまり聞いたことがない。

★走行 50.0km

4月2日(日)

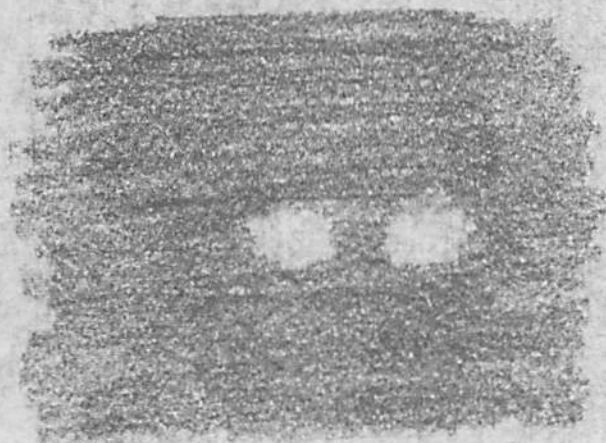


竜河洞の帰り。疾走するカローラの中で走っているのは
ミスターXだけ。

きのうのうちに輸行をすませたので、ス、と列車に乗れたので
あった。途中輸行は広範囲に見てまわれるという
利点はある。やがて、小川のニオイのする高知に着いた
ものの、雨であった。ミスターXがレンタカーを捜索した
のは、彼は姓断と偽見と考えているが、私は同一人物
なので、あまりハッキリ言えない。とにかくカローラを借り
て、民宿までピストン輸送。なかなかミスターXとし
てはあもしろかたようである。落ち着いてから、レンタカー
で、雨の中を竜河洞までドライブ。上原は、車に乗ると
今まで食べた米や、パンや魚や、ワナギなどが胃液
といっしょにくさくさして、口からがっつと出るうたと行って
行かなかった。

☆走行 0km

4月3日(月)



夜の小嶋内橋を
バッテリーライトをたより
に走っているところ

朝 再びピストン輸送で 駅へもどり サッと列車に乗れ
れば なにもパチンコで することはない。なにしろ
列車まで時間があるから 普通の人ならパチンコを
してしまふと私は考える。列車で山内郡へ入っていくと
雨降の雪降のアラシの氷降のいろいろなものがどん
どん降ってきた。ヤマゴモリ班のことをいちおう気にし
ながら 徳島に着いた。ここから鳴内まで走ること
にした。しかし雨の中、たいていシビアであった。YHは
電話したが おこられてしまい、わけがわからんまま
民宿兼泊となった。夜 小嶋内橋を走るのは まよと夜
ではないとできなかったらと思うほどの暗かった。
民宿で 遅くまで話していた。どなかの人に おこられた。
★ 走行 23.7km

4月4日(火)



鳴内で上原のナリを
中心にした写真

よ-やるわ (実際にある)

鳴内の朝は遅い。早く起きないときょうの分の料金を

ももらうと民宿の人にドヤされて出発。といっても

鳴内の穴を見に行きたのでそれほど走らばいい。

うでは、いつも見られるわけではなく時間が来るとは

いるのだが、いつ見ても同じにしが見えない。合宿が

始まってから SGB の「ヤニナリキタ」にもメガス 250

回もやった階級闘争もこの日限りであった。

サニサンと隔のあたる便所のフタの上でトランプをや

たりして、1日中の人ざりであった。しかし、ミスター-X には

夕方のはやニコが「ショ、ク」であった。夜は YH 集りで

食事、ホシモン焼であったが SGB はうまいとい

うが、ミスター-X はコムを食べている感じであった。

★走行 4.0km

4月5日(木)

本来なら高橋家のごちそう風景を絵にしようと思っただけだが、そうなるにしても高橋のオアクロサンを登場させないわけにはいかないが、オアクロサンが筆舌に尽し難いほどおもしろくていらしやるので YNPにした。とにかく YHを出た5人は高橋のけじめでして最後のフンバリ。ミスター Xは、アキヤリを試みたが、いつになく信号などで並んだ時の緊張感にはビビッていた。昼は名物さぬきうどんを食い、パチンコの千秋楽をやった。どうもミスター Xは十両落ちらしい。夜はゴキリウにありついて、心が広くなったために SGBがイクエに似ているという今世紀最大の発見をしたのはミスター Xであった。おち上げ前日のような夜は、なかなか大切であり、これからもおち上げで一晩すごすといいみたいである。まあそのうちには被害もあるだろうが、さしあたりエの島周辺で合宿は行なわれないうから、私は安心している。うん、なかなか金のかかる合宿という気はしない。

★走行 62.0km

★全走行距離 319.6km